

【設計はオリコンサルグローバル、施工は若築 サモアのアピア港安全向上計画が竣工】

サモアのアピア港 安全向上計画が竣工

設計はオリコンサルグ
ローバル、施工は若築

南太平洋の島しょ国サモアの国民生活や経済活動を支える、同国唯一の国際商港であるアピア港におけるJICA（国際協力機構）の無償資金協力「アピア港安全向上計画」が完成。写真、トウイラエバ首相兼外務貿易大臣らが出席して6月下旬に竣工式が行われた。

年間約50万トンの貨物を扱うアピア港は、同国で最も重要な港湾だが、施設の老朽化と

アピア港補修後、着桟第1号船舶となったクルーズ船（Pacific Jew 号）とアピア市街地



ともに、船舶の大型化を背景とした貨客混在により、船舶

の入出港、離着桟および係留時の安全性が脅かされている状況にあった。

同事業では、岸壁の延長とコンテナヤードの補修をメインとした港湾施設の改修や、タグボートの修復を支援。これにより、船舶入出港や港内荷役作業、旅客の移動などの安全性を高めるとともに、効率的な港湾機能を確保する。

オリエンタルコンサルタンツグローバルが2014年の協力準備調査に続いて詳細設計、入札図書の作成を含む施工業者選定補助、施工監理業務に当たり、施工は若築建設が担当した。